

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
呼吸代行技術学Ⅱ	1年次	必修	講義	2単位（30時間）	中野 広基 ※
授 業 概 要					
呼吸に関わる生体機能代行装置の基本的知識とその原理及び医療技術について理解する。 呼吸療法の種類や方法について学び、周辺機器についての基本的な構造や動作原理を理解する。 生体機能代行装置を安全に管理するための基礎的な保守や点検項目及び方法などを学び身につける。					
到 達 目 標					
1) 呼吸に関わる機器の患者への適用方法が説明できる。 2) 呼吸に関わる機器の構造と特性が説明できる。 3) 呼吸に関わる機器を安全に扱う。					
実務経験のある教員					
野口 裕幸 中野 広基：病院での臨床経験を踏まえ、呼吸に関わる生体代行装置の実施例や保守について解説する。					
回	学 習 内 容				担当教員
1	人工呼吸の原理と構造(1)		呼吸生理、自発呼吸と人工呼吸の違い		野口 裕幸 ※
2	人工呼吸の原理と構造(2)		使用目的、原理と構造について		〃
3	人工呼吸の原理と構造(3)		呼吸回路について		〃
4	人工呼吸の原理と構造(4)		換気モードについて		〃
5	人工呼吸の原理と構造(5)		換気条件の設定、換気動作について		〃
6	人工呼吸の原理と構造(6)		モニタリング、アラームについて		〃
7	人工呼吸の原理と構造(7)		PCV（BIPAP、APRV）について		〃
8	人工呼吸の原理と構造(8)		特殊機能、ウィーニングについて		〃
9	人工呼吸療法(1)		構造・構成、各種周辺装置について		〃
10～12	人工呼吸療法(2)		呼吸療法技術について		〃
13	人工呼吸療法(3)		人工呼吸管理中の患者管理について		中野 広基 ※
14	人工呼吸療法(4)		人工呼吸管理中のトラブル対応について		〃
15	人工呼吸療法(5)		高気圧酸素治療について		〃
学 習 方 法					
臨床工学技士の主要業務のひとつである呼吸療法装置とその安全についての科目である。予習復習を十分に 行い、しっかりと理解すること。					
評 価 方 法					
学科試験により評価する。					
先 修 科 目					
教科書、参考書					
〔教科書〕 生体機能代行装置学 呼吸療法装置 第2版 日本臨床工学技士教育施設協議会 監 医歯薬出版 臨床工学技士標準テキスト 第4版 小野哲章 他 金原出版 配布資料					